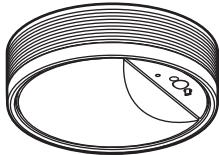


# Panasonic®

## 施工説明書

住宅用照明器具(「ナノイー」搭載FreePa多目的灯)



品番 HH-SB0097N  
HH-SB0097L

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある  
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が  
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で  
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

#### ■取付面

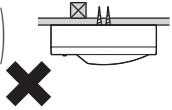
●次のような場所には取り付けない  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



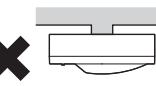
禁止

・補強のない場所

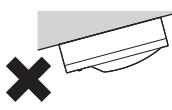
(ベニヤ板や  
石こうボード  
など)



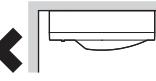
・不安定な場所



・傾斜した  
場所



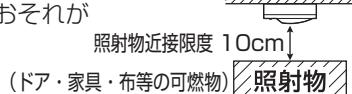
・掘込天井



◎この器具は水平天井面取付専用です。

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や  
家具などの可燃物が近づかないように  
考慮して取り付ける

守らないと、照射物の  
変色、火災のおそれ  
があります。



必ず守る

#### ■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、  
一般の入切用スイッチに交換する  
火災のおそれ  
があります。



◎調光器の取り外しが必要です。

#### ■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う  
取り付けに不備があると火災、感電、落下に  
によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電の  
おそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで  
確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、  
火災、感電のおそれがあります。

●本体取り付け時、電源線を本体で挟まない  
取り付けに不備があると火災、感電のおそれ  
があります。

## ⚠ 注意



### ● 温度の高くなるもの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジ等温度の高くなるもの上に取り付けないでください。

### ● 油煙や湯気が当たるような場所に取り付けない

火災、故障の原因となることがあります。

◎ガスコンロ、湯沸し器などの真上に取り付けないでください。



### 水ぬれ禁止

### ● 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



### 必ず守る

### ● 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

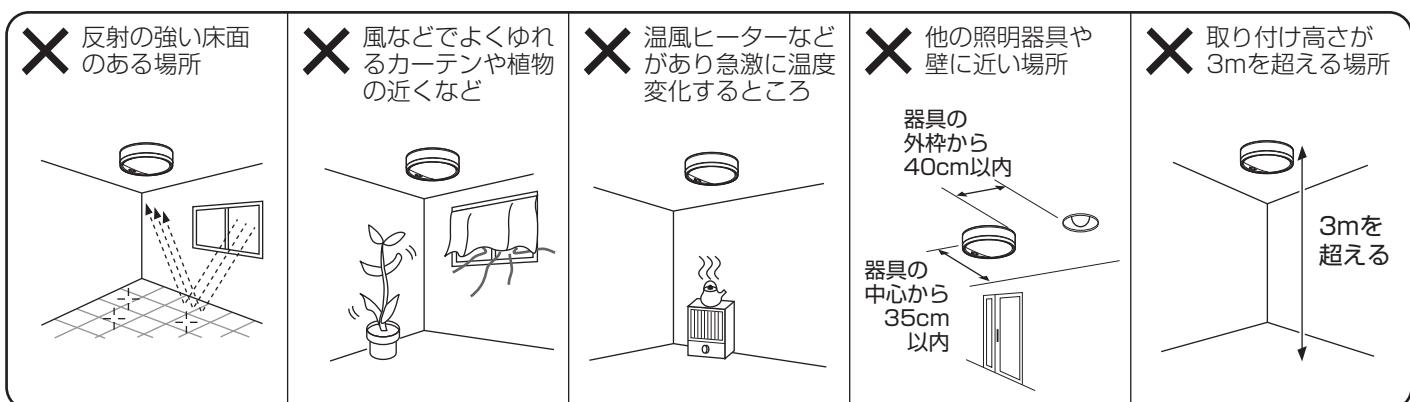
けがのおそれがあります。

## 施工前のご確認事項

### ■ 取付場所についてのご注意

#### ● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。検知範囲より大きな部屋では人を検知できない場合があります。（連続点灯はできません。）



#### ● センサの検知範囲内<sup>(※1)</sup>にエアコンの吹き出し口や換気扇等、動作する機器がないことをご確認ください。

誤動作の原因となります。※1: 次ページ「センサの検知範囲」参照

#### ● 換気をすると「nanoe(ナノイー)」が室外に流れ効果が得られません。

24時間換気の部屋にはお勧めしません。

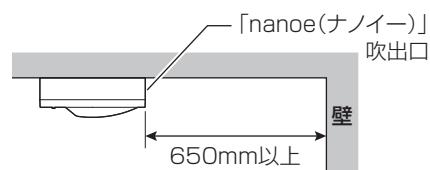
#### ● 火災警報器の近くに器具を設置しないでください。

器具と火災警報器の距離は1.5m以上離してください。

詳細は火災警報器の説明書をご確認ください。

#### ● 「nanoe(ナノイー)」吹出口から壁まで650mm以上離してください。

器具本体と周囲の汚れの原因となります。



### ■ 配線についてのご注意

#### ● 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）

・「nanoe(ナノイー)」運転動作の切り替えができません。

・センサによる点灯動作に異常が発生したとき、リセットできません。

#### ● ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個までご使用ください。

（4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても 器具が消灯しないことがあります。）

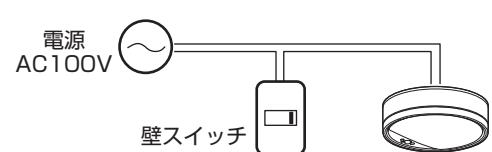
#### ● 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

#### ● 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

#### ● 一般照明器具や換気扇との連動はできません。

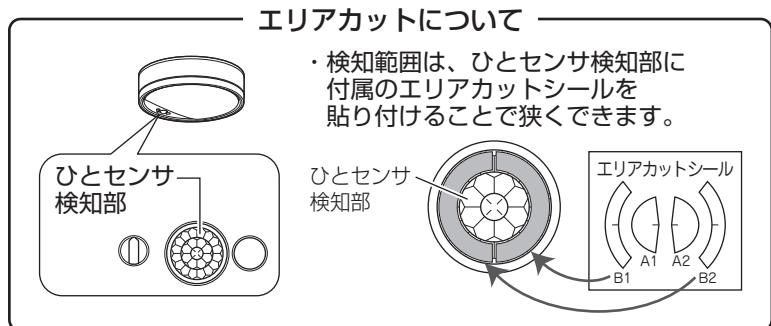
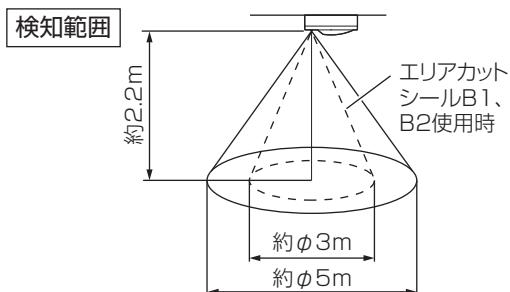
#### ● センサ子器を使っての多箇所検知はできません。

#### ● 壁スイッチはセンサ器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、「nanoe(ナノイー)」運転動作にバラツキが生じるおそれがあります。



# センサの検知範囲

●ひとセンサはおよそ下図の「検知範囲」で検知します。



## ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや方向などにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

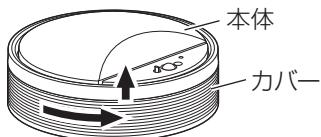
## 各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

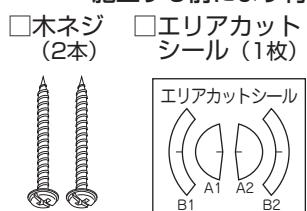
●器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

### 取り付け前のご準備

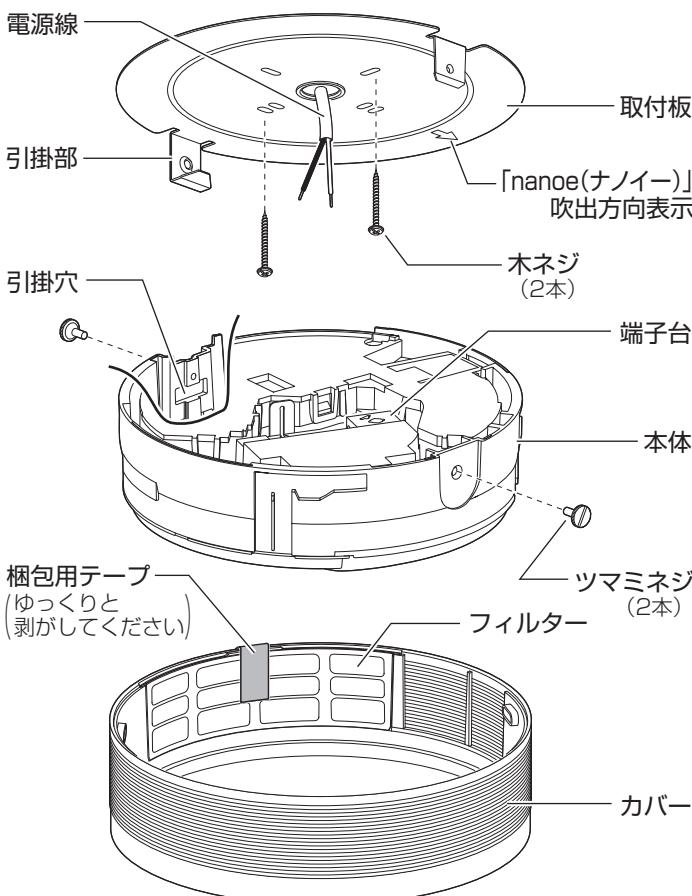
- カバーを止まるまで左に回し、本体から取り外す(右図参照)
- 本体からツマミネジ(2本)を外す
- 取付板の引掛部から本体の引掛穴を外す



### 施工する前にまず付属部品をご確認ください

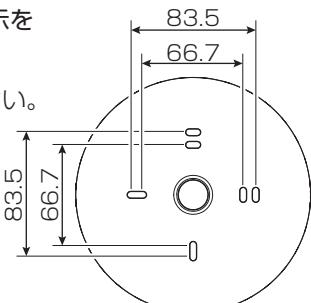


※エリアカットシールは必要に応じてひとセンサ検知部に取り付けてください。  
(上記「センサの検知範囲について」参照)  
使用しない場合、必ずお客様にお渡しください。



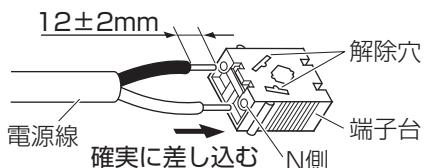
### 1 付属の木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

- 「nanoe(ナノイー)」吹出方向表示を確認しながら取付方向を決める。  
「nanoe(ナノイー)」吹出口から壁まで650mm以上離してください。  
(前ページ「取付場所についてのご注意」参照)
- 取付板の中央穴に電源線を通し、木ネジを確実に締め付ける。
- 取付ピッチ: 66.7mm、83.5mm



### 2 端子台に電源線を接続する

- 適合電線: VVF  $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$  単線

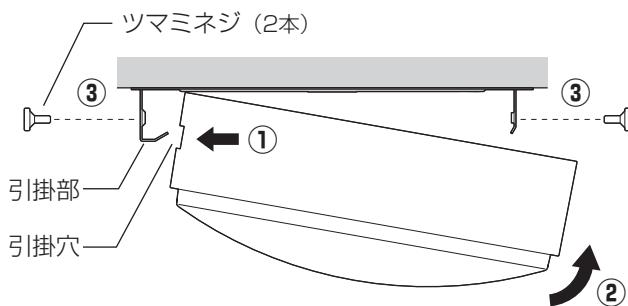


器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

(次ページにつづく)

### 3 本体を取り付ける

- ①取付板の引掛部に、本体の引掛穴を引っ掛ける
- ②反対側を持ち上げる
- ③片手で本体を支えながらツマミネジ（2本）を締め付け、本体を固定する

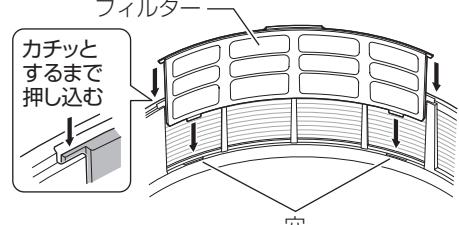


#### 警告

本体取り付け時、電源線を本体で挟まない  
取り付けに不備があると火災、感電のおそれがあります。

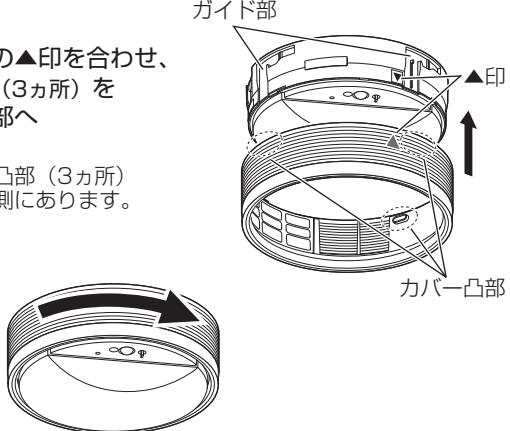
### 4 カバーを取り付ける

- ①カバー内側にフィルターが取り付いていることを確認する
- ・外れている場合は、カバーにフィルターをはめ込んでください。



- ②本体とカバーの▲印を合わせ、カバーの凸部（3カ所）を本体のガイド部へ押し上げる
- ・カバーの▲印と凸部（3カ所）は、カバーの内側にあります。

③カバーを止まるまで右に回す

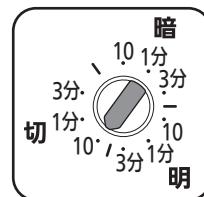


## 検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます

### 1 検知範囲を設定する

- ①壁スイッチをOFFにする
- ②調整ツマミを右記の設定（切-10）にする
- ③壁スイッチをONにする
- ④運転ランプ（青）が点灯していることを確認する



⑤センサの検知範囲の外に出る

・照明が約40秒間点灯してから消灯します。

点灯しない場合は以下的原因が考えられます。

・「nanoe（ナノイー）」運転がOFFになっている  
⇒ 壁スイッチを一度OFFし、約2秒以上おいて、再び壁スイッチをONする

⑥照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する

⑦検知範囲を変更したい場合は、ひとセンサ検知部にエリアカットシールを貼り付ける

☞3ページ「センサの検知範囲について」参照

### 2 調整ツマミを設定する

壁スイッチはいったんOFFにしてください

- 点灯保持時間（約10秒、約1分、約3分）、  
ひとセンサがはたらきはじめる周囲の明るさ（暗、明、切）  
を設定する。

☞取扱説明書 4ページ「センサ動作説明」参照

（注意）

- ・調整ツマミが“力ちつ”とするまで回してください。
- ・検知範囲に人がいても静止している場合、設定保持時間後、消灯します。

・設定後は壁スイッチをONにしてください。

